

市政を問う

市民の声を！



今回は15名の議員が質問しました。(質問者順)

独居老人の財産保全、金銭管理の代行を行なう「後見支援制度」の創設は

松本軍一議員

實松福祉部長

神崎市社会福祉協議会において展開中である。

「高齢者福祉策」を問う

議員 高齢化社会を迎え市内でも、概ね四人に一人が高齢者であり少子化と重なり地域社会の機能・世帯構造が変化し、独居老人の財産保全、金銭管理の代

行を行なう「後見支援制度」の創設は。

實松福祉部長 高齢者世帯が増加する中、トラブルの未然防止のために「地域福祉権利擁護事業」の安心サポート事業として神崎市社会福祉協議会において展開中である。

議員 厚労省は五月九日介護施設等での、奉仕活動に応じ、六十五才以上の介護保険料を軽減する事が出来るとの、見解を通知されたが、市においての導入の可否は。

福祉部長 この事については、県から通知を受けており、佐賀中部広域連合と構成市町において協議に取り組み、導入については検討中である。

災害時の避難訓練について

議員 災害等の発生時に避難しなければならぬ際に、手助けが必要な高齢者・身体障害者のデータ把握の現況は。

吉村総務部長 本年二月に策定された「地域防災計画」に基づき、地域における災害要援護者の支援体制づくりとして、地区担当職員・消防団・民生委員の協力を受けながら、要援護者の実態把握整理に努めている。

議員 高齢者等への安全確保・支援体制の整備状況を検証する観点から、自治体と防災組織との実動訓練の考え方は。

松本市長 災害はいつ起きるか判らない、整備等が完了しても即活用は難しく、出来れば地区毎に「実動訓練」をお願いしている。すでに実動訓練された地区もある。

その他の質問

- ・日中独居者（高齢者）に対する配慮は。
- ・高齢者世帯への消火装置の配備は。

直鳥城跡環濠集落整備の 目的は

白石 昌 利 議員

牟田産業部長

環濠集落として原型保全に留意した整備を図る。



湖人生家と教育再生

議員 市長が取り組まれている小・中学校がそれぞれの特徴ある学校づくりを展開し、開かれた学校づくりを目指す事業は、「教育のまち神埼」で育まれる子供たちにとって、又、子育て世代の親にとっても大変喜ばしく、頼もしいものである。この事業



下村湖人の代表作「次郎物語」

を五年十年と継続して、神崎市は率先して教育行政を強化して頂きたい。

又、下村湖人生家をぜひ教育再生の発信地として積極的な活用をして、アピールして頂きたいが、その取り組みについて。
島教育部長 市内の学校児童・

生徒による生家の活用と、市内外見学者に対しては、市の関係部署が一体となって、PRを強化していきたい。

直鳥城跡環濠集落の整備について

議員 県営地域用水環境整備事業のコンセプトは。

中野市民部長 ひとつは、自然景観を重視、それと、農業用施設を利用した利用保全、そして、クリークの浚渫をして、水の循環をよくすることである。

議員 完成後の利活用は。

牟田産業部長 園芸教室、フナ釣り大会、体験学習として、田植えから稲刈り、菱の実ちぎりの体験、ふれあい交流などを計画している。

安心・安全なまちづくり、歩道・通学路の整備

議員 千代田総合支所北側歩道

について。

野口建設部長 直鳥橋から千代田中部小前までの区間は、交通弱者の通行に支障があり、又、非常に危険な現状である。現地の実情を踏まえ、歩道改良の早期実現を県へ要望する。

議員 千代田中学校南側中央大橋西側歩道の信号機設置について。

教育部長 信号機については、総務課の方から、神埼警察署を経由して県の公安委員会へ要請していく。



県営地域用水環境整備事業（直鳥地区）

生きがい対策事業の予算は

原 口 ひさよ 議員

松本市長 年度間の計画を立てて行かなければならないと認識する。



生きがいデイサービスの実態について

議員 合併前より実施されてきた生きがいデイサービスは、合併前と同じ方法で行われている。合併後は、公平さを考え統一したサービスで運営を検討されるとの事であったが、今年度の運営実態について質問する。
實松福祉部長 脊振ふれあいセ

ンター、神埼町老人憩いの家、千代田町福祉センター（中部、南部地区）の三箇所を神崎市社会福祉協議会へ委託。東部生きがいセンター、西部生きがいセンターの二箇所を、社会福祉法人真栄会「こすもす苑」に事業委託している。事業の経緯としては南部地区が「継続が困難である」と言う事から、中部地区と南部地区が一緒にになり、社会福祉協議会へ委託できたが、東部地区、西部地区がなかなか決まらず、継続して「宅老ちよだ」に依頼してきた。
松本市長 運営実態を変更した理由を正確に報告するよう指示しているが、まだ報告を受けて

いない。

四月はデイサービス事業を実施しなかった事、又本当に福祉の仕事を担当する部署で、どのような検討をしたのか、遺憾に思っている。

議員 生きがい対策事業の予算が昨年度と比較して、今年度は五百十四万一千円の減額になっている理由について、説明を求めらる。

福祉部長 神埼、脊振、千代田



生きがいデイサービスの状況



神埼仁比山「いこいの家」

合わせて一年間分二百四十五日分を予算計上している。本年度については、決まらなかった状況もあり、あとの二百日分については九月議会で計上する事で検討したい。

市長 計画的に年度間の計画を立てて行かなければならないと認識する。

再度、検証してみたい。

中地江川改修と姉川城跡の 国指定はどうなる

内田 良 治議員

島教育部長 全国的に貴重な遺跡、十九年度中に

国指定の申請を行う計画。



は七四％程度となっている。

議員 国道三四号線の改良工事と姉川橋の改修はどう計画されているのか。

建設部長 南側への拡張と橋梁

のかけかえ等が計画され、十九年度は地元説明、その後、用地取得に取りかかることになる。

議員 中地江川の改修には姉川城跡が国指定になるか、ならぬいかによって左岸が大きく影響する。どう進んでいるのか。

島教育部長 姉川城跡は、中世の環濠集落の構造を持つ城跡で城主、家来集団屋敷、農民層集落から成り立っている地区であり、全国的に貴重な遺跡だ。地

元姉川地区の御理解を得て指定範囲を決定し、十九年度中に国指定の申請を行う計画だ。

議員 今年の八月までに中地江

川の路線を決定するには国指定の件で教育部、建設部との内部協議を早くして姉川地区への説明会を早急にすべきだ。

教育部長 努力したい。

議員 中地江川の改修はJRまでとなっているが上流は用地も確保されている。実施すべきだ。

建設部長 JRまで改修に目途が立った時点で県に要望する。

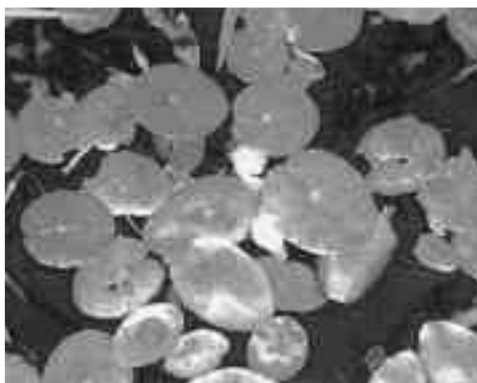
議員 中地江川には絶滅危惧Ⅱ類の「アサザ」や「オグラコウホネ」という植物が生息している。河川改修の折、どう保護するのか。

建設部長 大変重要な植物であり、出来るだけ生息部分に触らない形での拡幅を県と検討したい。

議員 松本市政も安全、安心の神崎市創りが基本だ。地球温暖化の中、災害防止に万全を期待

する。

その他の質問
・農業問題について



「アサザ」



中地江川のアサザ

産業活性化のための トップセールスについて

角 田 晴 義 議員

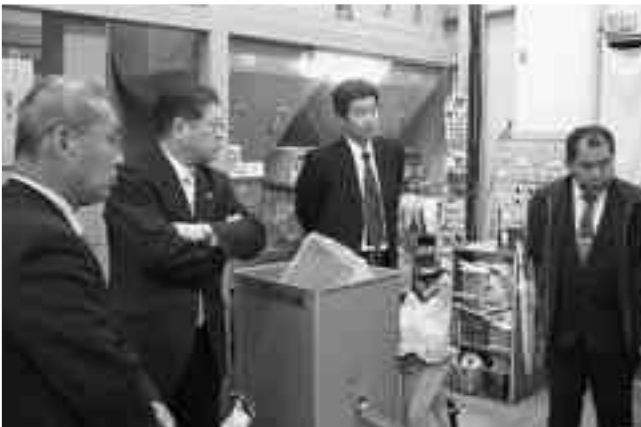
松本市長 毎日がセールスチャンスと心がけている。



産業の活性化について

議員 松本市長は市民の心を心としてトップセールスに全力を尽しておられるが、十九年度は具体的にどのように取り組まれるか質問する。

松本市長 市長は神崎市の、あの意味での営業マンであると考えている。農産物、その加工品のPR、また名所や観光地など



トップセールス状況（東京都内の米屋にて）

のPRを積極的に行い、販売促進、観光客の誘客による市内への経済効果の向上を図り、元気な神崎市への創造を目指してい

る。十九年度においても、毎日が神崎市のセールスだと心がけている。職員も同じく営業マンとしてPR活動に努めていくよう、意識の改革を指導しているところである。

地元発注率のアップについて

議員 私は先日、神崎市の商工会の総会に産業常任委員会の副委員長として出席し、商工会の活動状況、活動計画等優秀な企業、商店、業者等の会員の皆さんが非常に頑張っておられることがよく理解できた。商工業の活性化のために、市民も協力するべきと思う。行政も地元発注率のアップに努力すべきだと思う。

市長 地元発注率のアップについて私の考えは、元気な神崎市の創造を目指していることから、市内の企業、商店、業者が元気でなければならぬ。元気は気合だけではなれるものではない



商工会の総会

その他の質問

- ・千代田保育園について
- ・安心安全なまちづくりについて

ので、やはり経済的に潤うことが必要であり、当事者の自助努力は絶対に必要なが、行政として地元発注率アップに努力していきたい。

出産祝い券交付事業は もっと当事者の意見を 聞いて行うべき

福田 清 道議員

實松福祉部長 子育てをしている全ての家庭への支援を念頭に入れて、見直しについて関係各課と協議する。



出産祝い券交付事業制度の見直しについて

議員 この事業は第一子に一万円、第二子に三万円、第三子に十万円を交付しているが、増税で、市民のくらしは大変になっ

てきている。この事業についてはもっと当事者の意見を聞き、本当に子育て支援になるよう例えば、アンケートをとるなどして若い人たちの意見を聞くべきである。

本庁、支所の職員配置の問題について

議員 例えば千代田支所では税

務担当者はわずか一人になってしまった。本年度は住民税が二倍以上に増税され、市民は大変怒っている。脊振支所も同様である。

建設課も職員が二人しかいないので、区長さんが集落の要望を持って支所に来られても、二人とも現場に出て、誰もいない時があり、市民の方に大変迷惑をかけている。

職員配置を見直すべきである。

吉村総務部長 事務の効率化及び職員数の編成に伴い、一定の事務を本庁に集約することを目指した。そのために人事異動を行った。

今後業務をやっていく中で、どうしても不都合と言うことであれば、改善に向け協議も必要である。

六五郎橋のかけかえを早急に 国、及び県に求めるべき

議員 この六五郎橋は昭和四十

一年完成で、幅員が六メートルと狭く、しかも橋脚も多く、増水時の流量阻害の原因にもなっている。災害防止の面からも、市は国土交通省へ早急にかかけを求めるべきである。

野口建設部長 この橋は中央部分の完成から六十年近くたっており老朽化が非常に激しくなっている。市としても、筑後川河川事務所長との対談のおり、早急なかけかえの要望をした。今後積極的に国、県に要望をしていきたい。



六五郎橋（千代田町迎島地区）

青少年育成市民会議（地区懇談会）の考え方は

八谷 努議員

實松教育長 子供達の健全育成を願い後世へ

継承していきたい。



議員 地区懇談会に出席者が少ない、参加者を増すための施策について。

實松教育長 地区の懇談会は、

旧神埼町に於いて長い歴史を持つている。子供達の健全育成を願って開催されて来た地区懇談会の意義を正しく継承して後世に伝えて行きたいと思っている。十六年度からは千代田町が

神崎市みんなで取り組む 子ども安全安心まちづくり決議

- 一 私たちは、自分の居住する地域コミュニティの力を結集し、地域の公園や遊具及び遊び場の安全点検を行い、子どもたちの安全確保に努めます。
- 一 私たちは、機会あるごとに安全に対する指導を行い、子どもたちが自ら防犯・防災を心がけ、自分の身を守る力を育てます。
- 一 私たちは、努めて子どもたちに声をかけ、相談相手となって不安や心配を取り除き、いじめなどをしない素直でやさしい子どもたちを育てます。
- 一 私たちは、協力しあって市内の安全パトロールを行うとともに、「子ども110番の家」の拡充に努め、子どもを犯罪から守ります。
- 一 私たちは、防犯灯の整備や玄関灯の点灯に協力し、明るいまちを作ることで犯罪の防止に努めます。
- 一 私たちは、地域住民のより良い人間関係を作り出すため、積極的にあいさつを交わし、元気で明るいまちづくりを推進します。

平成19年6月3日 神崎市子ども安全安心まちづくり集会

あらゆる機会をとらえて、ご理解と協力をお願いして行きたいと思っっている。

ロードレースの名称変更について

議員 昨年、吉野ヶ里町が誕生

し吉野ヶ里ロードレースは同町が主催していると市民の中には思っっている方がいる。十九年度は神崎市ロードレースイン吉野ヶ里に変更して合併記念として開催しては如何か、尚十九年度予算として三百六十万円が計上されている。多くの市民が参加して楽しいロードレースになるようPRする考えがあるか質問する。

教育長 吉野ヶ里ロードレースインかんざきの名前については、体育協会の総会に於いて名称変更

について意見聴取をしたが格別ご意見はなかった。これまでの歴史と吉野ヶ里公園敷地の三分の二は神崎市に所属していることも考えたときに、私見ではあるが現行どおりでもよいのではないかと考える。

議員 この件は、懸案として再度検討を要望して行く。また、社会教育課の公称を生涯学習課にと質問したが、現状のままとの回答であった。私は生涯学習課の方が市民の皆さんに親しまれると思うが、前向きに教育委員会等で真剣に検討方お願いする。

議員 この件は、懸案として再度検討を要望して行く。また、社会教育課の公称を生涯学習課にと質問したが、現状のままとの回答であった。私は生涯学習課の方が市民の皆さんに親しまれると思うが、前向きに教育委員会等で真剣に検討方お願いする。



吉野ヶ里ロードレースinかんざき

大規模小売店舗法の規制緩和に伴い、 脊振・神崎・千代田町における、個 店対策そして地域活性化をどのよう に考えるか

廣 瀧 恒 明 議員

牟田産業部長 神崎市、商工会、事業主と連携を図り
ながら、地域活性化に努めていく。



議員 神崎市周辺における、大規模店舗の出店はもはや消費者ニーズに應える、自由競争を越え地元商業環境、地域社会における生活環境をも脅かしている。脊振・神崎・千代田から、街中から店がなくなってしまう。こ

の事は非常にくやしい。市としても時代に合った長期計画を地域生活面、商工会と共に作り上げる事が大切だと思うが、市としてどのように考えておられるのかおたずねする。

松本市長 地産地消、地域での経済活性化のため地元での消費向上対策を市報等を通じ提唱し、そして郷土を愛する精神を涵養していく事を進めてみたい。

牟田産業部長 車社会の中で、大規模店舗とどう対抗し街ににぎわいを持たせるかと、地域一

体となって考える時期だと思う。地域に密着した店づくり、高齢者対応型、福祉対応型商店街を目指すため、神崎市、商工会、事業主と連携を図りながら、地域活性化に努めていく。

議員 商工会も合併し、改革、効率化が進んでいる。血のにじむような努力は官民一緒と思う。地元商店は他方面に貢献していると思うが、その辺はどう考えるか。

産業部長 個店は大型店にないものを持っている。消防団、他のボランティア活動等、市への



地元材を生かそう



神崎三丁目付近

貢献は非常に高い。「神崎市にあるものは、市内で買いたまおう」とPRを今後展開していく。

その他の質問

- ・ 山地災害の防止、水源かん養等の治山事業について
- ・ 森林の整備計画及び健全な育成について
- ・ 行財政改革の答申を受けて、今後における市の基本的な考え方について

地域の活動を支援する県及び 神崎市の助成事業の広報PR と実態について

木原 けんじ 議員

垣永企画部長 各種事業と一緒に各会議の場においてPRしている。



議員 今、NPOやボランティアでつくる市民団体などCSO（市民社会組織）の活動が注目されている。

素早く動くことが出来、具体的な目標を実現する為に結成される事から、役割が明確であり、また専門的な知識を持っている人が多く、メンバーも義務的

なく、やりたいことをやっているため、意欲もわいてくる。こうしたことから役割が次第に大きくなっていく。

そこでこうした県の市民団体や個人への色々な、助成事業を本市としてどのように広報PRし、実施されているのか尋ねる。

垣永企画部長 県からの情報を本市で一回受け取って、本市の各種事業と一緒に各会議（区長会、老人クラブ、PTA等）の折PRしている。

議員 関連があれば他の課にも情報を伝達し、そこから各種市民団体等へ情報を流し知らせて、

大いに活用して欲しい。

全国学力テスト実施について

議員 去る四月二十四日四十二年ぶりに、約二百三十三万人の小学六年生と中学三年生を対象に、全国学力テストが実施された。

このテストはランキングが目得的ではなく、学習指導に活用するために実施されたが、かつては順位をめぐり競争が激化した。

過去の教

訓を活かした健全な競争・学習指導が期待できるのか。

また、都道府県別に教科ごとの平均点が公表される予定だが、どのように活か

されるのか質問する。

實松教育長 一人一人の児童・生徒の学力向上につながるような取り組みを考え、学校間の差を問題にするよりも、各学校の置かれている位置を把握し、学校の責任としての学力向上につなげてもらいたい。また公表されたデータをもとに各学校毎、学年毎に、児童・生徒の課題を明らかにして指導方法の改善や学習環境改善にも生かしていきたい。



城原川中・下流域の用水確保 について

永沼 彰議員

野口建設部長 現在のところ中断中であり、早期の再開を打診している。



水としての必要性等を論議する広域的水利用検討会が発足し、これまで九回開催され流量調整の必要性などについて論議が行われております。現在のところ中断中であり神崎市としては早期

議員 近年城原川の平常時の水量不足の状況はますます進んでいます。流域に設置されている樋管からの環境維持用水の取水は困難な状況である。用水確保の対策についてお伺いする。
野口建設部長 城原川の利水については佐賀県の主催で平成十七年より関係行政機関等で、河川水量や水利権の確認、環境用



城原川（千代田町中央大橋付近）

の再開を打診しているところですよ。

本庁、支所間の業務、職員配置の見直しについて

議員 新年度より機構、職員配置の大幅な見直しが行れたが、合併協議では市民に対するサービスに変化の少ない総合支所方式を取り入れたが合併後一年での大幅な見直しは市民の皆さんも職員の中にも戸惑いがある。事前に地域審議会等の意見を聞く必要はなかったかお伺いいたします。

船津副市長 区長会の中では説明したが地域審議会の声は聞いていない。今後さらに職員数削減を計る必要がある中で現在の三庁舎の組織機構を維持していくのは困難と思う。組織機構見直しの中で例えば総合窓口化を図る等の検討も必要であり、今後三庁舎の業務のあり方について、地域審議会の声を聞くこと

も考えていきたい。

保育行政と職員配置

議員 神崎町の二保育園は、保育士を園長に配置、千代田町の二保育園は一般行政職員で対応しているが基本的な考え方は。
副市長 各々長所短所はあるがいずれの形態がいいのか、十分検証できていない。保育士についてはそれぞれの保育園の実態を知り、どのような教育のあり方がいいのかを学んでもらうため人事異動を行っている。



本庁（社会福祉係）

市内商店街の振興と安心安全 のまちづくりを

原 信 義 議員

吉村総務部長 消耗品、四三〇品目のうち約三〇〇程度

市内業者に発注したい。



議員 神崎町商店街は空き地、

空き店舗が多く、かつての繁栄の面影を残しながら衰退していつている。しかし、これを時代の流れとして放置しておくのか、それとも的確な対策をとり、いま一度元気を取り戻すのか、いま、行政に厳しく問われている。

牟田産業部長 商業環境はきび



神崎町内の商店街

しく商店数、従業員数、商品販売額とも減少傾向。今後、市、商工会、事業者と連携を図りながら商店街活性化に努めていき

たい。

議員 当面の振興策の一つとして、地元業者への市発注の大幅な拡大を求めたい。神崎市の地元への十八年度需要費発注は、市内調達可能額の約五割。消耗品費で三割になっている。これを早急に七割五分まで引上げることが必要だと思う。

吉村総務部長 特に消耗品は十九年度、市内業者への発注を増すことにしている。四三〇品目のうち約三〇〇程度を市内に発注していきたい。

集落間の街灯設置について

議員 安心・安全のまちづくりで遅れているのが防犯灯、街灯整備。とくに集落間のおくれが目立つ。三神地区五市町を見比べると神崎市は極端に未整備路線が多い。面積は一番広いのに

防犯灯の設置数、市負担の電気料金は最も少ない。この遅れの主因は旧神崎町域における未整



街灯（防犯灯）未整備地区（神崎町内）

備。思い切って市費を投入し、通行量、通勤者、通学生徒の多い主要な幹線道路の集落間に街灯、防犯灯の大胆な整備を市の責任で行うことが求められている。

松本市長 思い切ってやれという意見はありがたいが、財政再建もありむずかしい。しかし、商店街の問題とともに、真に必要な課題は思い切ってやるという事で、今後すすめたいと思う。

行政改革に嘱託職員の積極活用を！

宮 島 清議員

吉村総務部長 専門性を有した嘱託職員の雇用はその手段の一つと思っている。



た嘱託職員の雇用はその手段の一つと思っている。

議員 団塊世代の退職者が民間においても多数出てきた中、優秀な知識や技能・資格を持った方が沢山おられるが再就職の機会には厳しいのが現実である。行政として積極的に門戸を空け雇用の機会を作るべきだ。指定管理者制度の活用や民間で培われた仕事の手際等を是非とも活用して欲しい。

嘱託職員の報酬について

議員 神崎市の嘱託職員の報酬は勤務に応じた支給をされている。

議員 合併の目的は健全な財政基盤の確立と効率的な運営が目的と思う。職務内容において職員でなく嘱託職員で十分対応可能なものが数多くあるがどの様に考えているか。
吉村総務部長 職員採用については計画的な補充と抑制に取組み、定員管理計画により縮減対策を行っている。専門性を有し

るか。

総務部長 三月議会で指摘を受け調査の結果不均一であった為、是正すべき点については現在改善に向けて進めている所である。
松本市長 優秀な人材の確保には適正な報酬は必要とされている。現在の報酬については即、見直しをかけたと思う。

PFIの取組むは？

議員 市の給食センター建設にPFI（民間資本による建設や運営・経営ノウハウ）の導入構



千代田学校給食共同調理場

想があったが現在の取組み状況は。

島教育部長 現在、導入した場合のメリットと、懸念される問題点について調査している。

議員 神崎市でこの実現は具体的に可能と思うか。

市長 PFIの採用については未だ決定していないが、私の感じでは採用についてはどうも弱いのではないと思っている。

議員 私も、給食の選択性や運営手法等で具体化は難しいと思う。



脊振学校給食共同調理場

ごみ袋の改善について

佐藤 知 美議員

中野市民部長 現行の袋で実施しているが再度検討したい。



ごみ減量化対策について

議員 一般家庭から出る生活系ごみは全国的に減少傾向にあるが、商業施設等から出る事業系ごみは増加傾向にある、ごみ減量化の実態と今後の計画、さらにはごみ袋に対する市民の改善要望もあるがどのように対応するか。

中野市民部長 ごみ処理の実態

は処理量が一二・五%増加しているが、資源ごみについては集団資源回収団体の登録推進、補助金交付により資源ごみは減少傾向にある。

また、国のリサイクル目標数値達成のために容器包装の分別収集品目の拡大を計画している。



神崎市指定ごみ袋



脊振広域クリーンセンター

事業系のごみについては施設搬入前に市役所で検認書、確認書を発行する際に内容物の検査を行い、ごみ減量・資源化の指導を行っている。

ごみ袋の改善については三回の担当者会議を開いて検討したが、現行の袋で実施となっており、平成二十年度の分別拡大収集計画がなされているので再度検討したい。

高齢者福祉サービスについて

議員 高齢者福祉サービスの拡

充については、介護保険制度の相次ぐ改悪のもとで、保険からはじきだされた軽度の高齢者から車椅子や介護ベッドが保険給付対象外とされ、自己負担での購入やレンタルになり自立が阻害される実態となっている。このような状況におかれている高齢者への生活用具給付の現状は、**實松福祉部長** 平成十八年度から、国の三位一体改革により日常生活用具給付事業が廃止となったため、現在は実施していない。

議員 一人暮らしなどの火災予防として電磁調理器など過去に給付実績があるが再開すべきではないか。

松本市長 電磁調理器が除外された背景がよくわからないが再度検討したい。

議員 最近二人の方が行方不明になり水死されたが、位置確認ができる端末機の導入も検討を。
市長 佐賀市、小城市の実態も調査し検討する。

市は財政収支が非常に悪化している、その対策は

志岐 悟 議員

垣永企画部長 企業誘致に努める。



行革とダム問題について

議員 神崎市行財政改革大綱で経常収支比率、平成十六年度決算で九三・五%に対し十七年が九八・七%で前年に比べて五・二%も増加し、佐賀県で一位で財政収支が非常に悪化し、内訳を調べてみると、人件費、物件費、扶助費、公債費が増加しこの状態が続けば極めて近い将来

に財政の破綻が来ると考えるが。

垣永企画部長 改革プラン等にあるように市民の理解を得た上で縮減できる分は縮減した歳出の抑制に努め、一方、歳入面においては、自主財源確保のための企業誘致や雇用の拡大を進める。

議員 本市は債務負担行為まで



神崎市内誘致企業

入れて二百億円以上の借金で地方財政の健全化を図る新指数実質公債比率が我が市は佐賀県第四位で一八・二%で、これが一八%以上になると地方債の借りに入れに際し、国の許可が必要である公債費負担適正化計画策定団体になる。財政運営上支障等ないか将来展望は。

企画部長 実質公債費比率を見ても、神崎市は十七年度で一八・二%であり、このまま単に国・県の依存財源のみに頼り、歳出の縮減を図った場合公債費の負担構成なり、地方債を借り入れる場合国の許可が必要となるため、新たな財源確保が急務である。

城原川改修について

議員 城原川の改修と約束について城原川は計画は三百三十七計画で堤防高二倍川幅三倍断面積五倍と約束したが下流はなぜ狭いか。

野口建設部長 直鳥橋下流の一部と柴尾橋下流旧蓮池町地区の用地買収ができなかったと聞いている。

議員 ダム問題について市長に質問する。「早すぎる決断」行革やダム課題は山積、一方懸案の城原川ダム建設問題は就任二ヶ月で同ダム建設を明記した市長選では「広く意見を聞いていく」早すぎる決断に不信感を市民が言う。

松本市長 先に決断の経緯は、説明したところであり、一刻も早く住民の不安なり、または疑念を払拭して強く要望をやっていく。



城原川（柴尾橋下流）

吉野ヶ里町の合併、もっと慎重に

片江 護 議員

松本市長 友好的な市の交流は積極的に進める。



もの、友好的な市の交流は積極的に挑むべきと考えている。
 議員 吉野ヶ里町が積極的でないのに、議会や市民にも何の話もしないで議長を伴って正式に合併の話を持ち込むことは、軽率すぎるのではないか。

議員 今回市長は議長を伴って、吉野ヶ里町と合併を視野に入れた協議を深める為突如として吉野ヶ里町長と会われ、軽くあしらわれたようだが、どういう考えか。
 松本市長 私の市長立候補時における公約の一つであり、旧神埼郡は一つであるとの考えに基づいている。また隣接自治体として相互に情報の交換が有益な



吉野ヶ里公園

それよりも吉野ヶ里町から神崎市に合併の話を持ち込んでくるような魅力ある神崎市を造る事が先決であると思う。

市長 神崎市から出向いたから即合併するとか、そういう協議に入ることはまず難しいと思う。相手があることなので今後はそういったことを視野に入れて最終的な目標にして広域的にやっていきたい。

市民の生命と財産を守る

議員 市民の生命と財産を守り、城原川の水を一滴とも漏らさない治水対策は、今日国土交通省が示している城原川の整備計画では安心安全が守れない。また城原川にかかる神埼町内の三つの排水機がいつでもフル回転出来る川にすることが大切であり、その為にも整備計画を国土交通省に任せるのではなく神崎市でつくるべきと思う。

市長 ご指摘のように確かに内



神埼町内の排水機（神埼消防署西側）

水面の排水をいつでも流せる川であってほしいと私も思っている。
 その辺の相対的な事の考えの中で、私は出来るだけ大きく安全を確保して頂くような立場でお願いしている。

その他の質問

- ・ 地域支援事業
- ・ 千代田保育所入札
- ・ 神埼市の基幹産業としての農業対策について